事業番号　　新26－7

平成２５年行政事業レビューシート　　（外務省）

事業名	次世代日系人指導者会議開催	担当部局庁	中南米局	作成責任者
事業開始・終了(予定) 年度	平成２６年度	担当課室	南米課	課長　清水享
会計区分	一般会計	政策・施策名	Ｉ－３　中南米地域 Ｉ－３－２　南米諸国との協力及び交流強化	
根拠法令（具体的な条項も記載）	外務省設置法第4条第8号	関係する計画、通知等	－	
事業の目的（目指す姿を簡潔に。3行程度以内）	中南米各国から，政治・経済・文化等各自出身国の幅広い分野で既に一定の実績を有し，将来に亘って日系社会のリーダーとなる資質を有する人材を8名招待し，日系人ネットワークの活発化を通じた日・中南米関係強化を主要テーマとした会議を開催する。			
事業概要（5行程度以内。別添可）	中南米地域から次世代のリーダーとなる人物を8名訪日招待し，意見交換とネットワーク構築を目的とした会議を開催する。			
実施方法	■直接実施　□委託・請負　□補助　□負担　□交付　□貸付　□その他			

予算額・執行額（単位：百万円）

		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求
予算の状況	当初予算					7
	補正予算					
	繰越し等					
	計					7
執行額						
執行率（%）						

成果目標及び成果実績（アウトカム）

成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値（26年度）
招へい後のフォローアップによる効果測定の結果，効果のあったと判断される案件の割合	成果実績	人				70%
	達成度	%				

活動指標及び活動実績（アウトプット）

活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	26年度活動見込
毎年1回中南米から8名の次世代日系人指導者を招へいし，会議を行う。	活動実績（当初見込み）	回		（　　）	（　　）	― （　1　）

単位当たりコスト	7百万円	算出根拠	平成26年度の事業全体に要した経費（7百万円）／平成26年度次世代日系人指導者会議の開催回数（1回）

平成25・26年度予算内訳

費　目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由
人件費	－	0.49	
招へい費	－	6.7	
会議費	－	0.15	
旅費	－	0.004	
計	－	7	

事業所管部局による点検

	項　目	評 価	評価に関する説明
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	主に事業を通じて重層的な日・中南米関係の構築へ貢献せしめることを目的としていることから，国が実施すべき事業であるという観点から評価する
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	
	明確な政策目的（成果目標）の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	事業委託先の選定にあたって，一般競争入札等を実施し，コスト削減できているかという観点から評価する
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	
	単位当たりコストの水準は妥当か。	○	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	－	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）	－	
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	－	南米在住の日系人同士のネットワーク構築を目的とする観点から，適切な人数を招へいする必要がある。
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 （役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載）	－	

事業番号	類似事業名	所管府省・部局名

点検結果	次世代日系人指導者会議に必要な経費を無駄なく執行することができたか否かの観点から点検する。

外部有識者の所見

－

行政事業レビュー推進チームの所見

適切かつ効率的な事業実施に努める。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

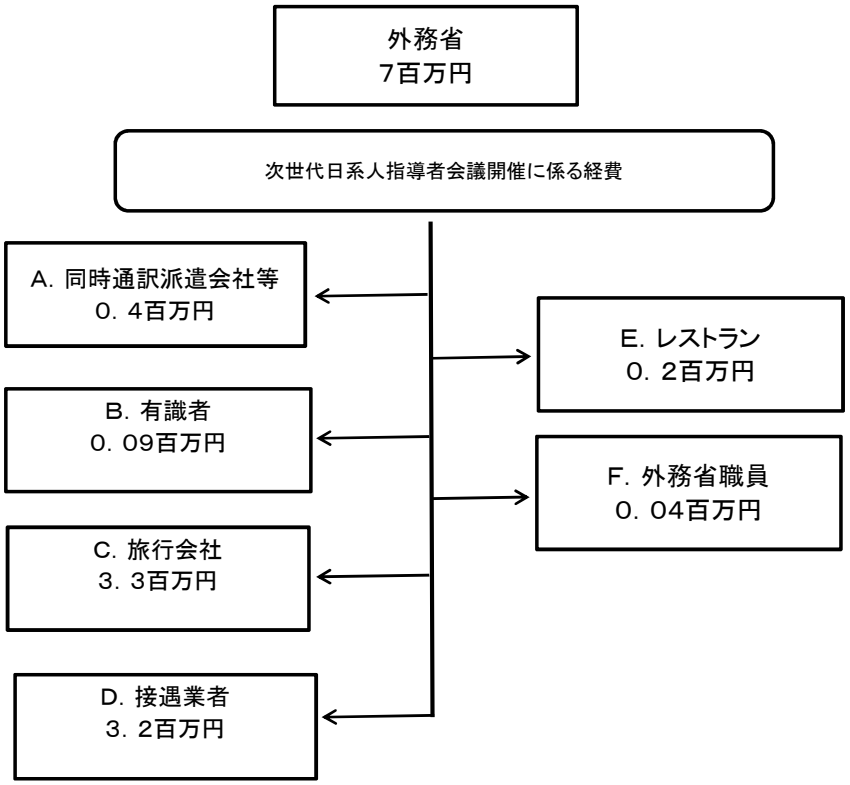
－

備考

－

関連する過去のレビューシートの事業番号

	平成22年	－	平成23年	－	平成24年	－

個別事業名： 次世代日系人指導者会議開催に係る経費

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する） （単位：百万円）	※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。